

音楽芸能スタッフ科 照明コース
2年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養Ⅱ	74	2	4
講義	音楽史Ⅱ	74	2	4
講義	電気・舞台知識Ⅱ	74	2	4
講義	P C 知識Ⅱ	74	2	4
講義	コンサートスタッフ知識Ⅱ	74	2	4
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
実習	イクイップメントⅡ	74	2	2
実習	照明Ⅱ	74	2	2
実習	C A D Ⅱ	74	2	2
実習	デザインⅡ	74	2	2
演習	スタッフワークⅡ	148	4	8
合計		888	24	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。</p> <p>②具体的にはビジネスマナーの基本である第一印象、あいさつ、みだしなみ、態度、ことばづかい、話し方・聞き方、ビジネス文書、来客対応、仕事の進め方、食事のマナー、日本のしきたりまで学習する。</p> <p>③就職活動に必要な、自己PR作成や立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。</p>					
到達目標					
<p>・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。</p> <p>・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることができる。</p> <p>・ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、就職内定を最終目標とする。</p>					

対策	
【前期】 1～4回目	・就職面接対策 ・筆記対策
【前期】 5～8回目	・マナーの基本(第一印象、あいさつ、身だしなみ、態度、表情、姿勢)復習 ・敬語(尊敬語、謙譲語、丁寧語、クッション言葉、間違えやすい敬語)復習
【前期】 9～12回目	・コミュニケーション(聞き方・話し方、接客の言葉遣い、お客さま心理の理解)
【前期】 13～16回目	・ビジネスマナー①(ビジネスマナーの意義、来客対応、訪問のマナー、電話応対)
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。接遇の基本、言葉遣いなどに関わる知識や技能を問う。
【後期】 20～23回目	・ビジネスマナー②(ビジネス文書、ビジネスメール、指示の受け方・報告のしかた)
【後期】 24～27回目	・日本のしきたり①(冠婚葬祭のマナー、年中行事、贈り物のマナー)
【後期】 28～31回目	・日本のしきたり②(食事のマナー「和食・洋食・中華」、お酒のマナー)
【後期】 32～35回目	・社会人としての心構え(企業人としての必要要素、職場のルールとマナー、環境設備、ストレス対策)
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。オフィスワーク、日本のしきたりなどに関わる知識や技能を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	会社のしくみを学び、仕事の基本を知ることからはこれから社会に出るみなさんにとって大きな自信につながります。「企業は人なり」と言われるように社員のちょっとした言葉や行動が会社の印象に関わるからこそビジネスマナーが大切です。あらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり習得します。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台照明技術史		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし舞台照明技術の発展に関する講義を行う。				
授業概要					
「現代照明の足跡」を教材として使用しながら、時代の波、変化の渦の中、舞台照明を開拓し、道を切り開いてこられた照明家 遠山静雄氏、小川昇氏、松崎國雄氏、篠木佐夫氏、穴澤喜美男氏、大庭三郎氏、相馬清恒氏という7人の照明家の方々にスポットライトを当て、主に舞台照明における灯体や調光卓などの機材が時代とともにどのような進化を遂げてきたか、会場規模の巨大かによる変化やLEDやDMXなどのデジタル技術の進歩などについて学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明の歴史を辿り現代の照明のあり方を考え、理解を深める。 ・舞台照明に関する知識を確認、理解する。 ・エンターテインメントにおける照明の必要性を深く知る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 昭和初期～後期の仕込図やキューシート、舞台施設解説。
【前期】 5～8回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 遠山静雄氏に関して。
【前期】 9～12回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 小川昇氏に関して。
【前期】 13～16回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 相馬清恒氏に関して。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期授業内容から抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身につけているかを問う。
【後期】 20～23回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 松崎國雄氏に関して。
【後期】 24～27回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 篠木佐夫氏に関して。
【後期】 28～31回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 穴澤喜美男氏に関して。
【後期】 32～35回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 大庭三郎氏に関して。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期授業内容より抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身につけているかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	日本の舞台照明は1900年頃から「電気」が導入されたことによって大きな変化が始まったのですが、第二次世界大戦前後は日本の舞台照明は現代照明に向け、めざましい発展を遂げました。この講義を通じて、過去と現代の照明に関しての時代の歩みを理解することができます。
備考	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たち

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	電気・舞台知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。				
授業概要					
<p>①芸能の発生から芝居小屋の広がり、近代の公会堂、劇場、ホールへと歴史的に変化していった、日本の劇場、ホールについての学習する。</p> <p>②世界の劇場建築の変遷について、ギリシャからローマ時代、オペラ、クラシック音楽などの上演に適した専門劇場の形態を学習する。</p>					
到達目標					
<p>・卒業後、劇場等演出空間での創造性溢れる自由な表現活動に携わるスタッフに求められるのは、高度な創造と制作であり、さらには円滑で、より安全な公演実施には、音響、照明などの分野を超えた共通認識が必要とされ、公演に携わる者のコミュニケーションのために、必要不可欠な知識を習得が求められる。制作スタッフは、専門教科内で身につける知識とは別に、劇場が歴史的に、また洋の東西を超えて、文化創成、文化発信、文化体感の空間であることを認識することで、単なる技術者にとどまることなく、文化の一翼を担う、インテリジェンスを身につけた存在を到達目標とする。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	●社会の中での芸能とホールの存在意義。
【前期】 5～8回目	●日本の公立劇場とホール。
【前期】 9～12回目	●欧州のホールの歴史、構造と文化的背景。
【前期】 13～16回目	●ホール、劇場の性能と機能。
【前期】 17～19回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	●文化芸術政策と劇場ホール。
【後期】 24～27回目	●実演芸術の制作。
【後期】 28～31回目	●劇場・音楽堂 その設備と運用の実際。
【後期】 32～35回目	●総括。
【後期】 36～37回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	卒業後の進路であるイベント制作会社、音響会社、照明会社、ローディー会社、プロダクション等の現場に臨むに当たり、これからエンターテインメント就労する中では、習得する機会のない基礎的な舞台全般知識の習得を目指します。
備考	舞台技術の共通基礎

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ESPエンタテインメント福岡校のイベント制作コースを卒業後、企画制作コースのアシスタントとして勤務。並行してアーティストのマネージャーも担当。この授業では上記の経験を活かし、企画制作、マネージャー、レコーディングに特化したPCの授業を行う。				
授業概要					
パソコンは、生活を便利にするツールとして今日、あらゆるシーンで利用されている。スマートフォン・タブレット全盛の時代だが、ビジネスの世界では業界問わずパソコンを使いこなせることが必須項目である。この講義では、音楽業界だけでなく、現在のビジネスで標準的に利用されているMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)ソフトウェアの概要と応用的な使いかたを学ぶ。					
到達目標					
<p>・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。</p> <p>・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどである。したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Excelレイアウトの応用。(Excel方眼紙、枠線の練習)
【前期】 5～8回目	Excel関数の紹介。(SUM, MAX, MIN, AVERAGE, IF, IFERROR)
【前期】 9～12回目	Excel関数の紹介(VLOOKUP)、マクロの基本、Wordの復習。
【前期】 13～16回目	Wordのレイアウト要素確認。(用紙サイズ、ワードアート、テキストボックスの利用など)
【前期】 17～19回目	■前期試験: Officeソフトウェアの機能や部位の意味・名称に関するペーパーテストおよび与えられた指示通りのExcel/Wordファイルが作成できるかどうかを問う。
【後期】 20～23回目	Wordのレイアウト要素確認。(表、画像の埋め込み、紙サイズ、ワードアート、テキストボックスの利用など)
【後期】 24～27回目	PowerPointプレゼンテーションの考え方①、ストーリー作成①、サンプルプレゼンテーション①(発表)
【後期】 28～31回目	PowerPointプレゼンテーションの考え方②、ストーリー作成②、サンプルプレゼンテーション②(発表)
【後期】 32～35回目	Excel/Word/PowerPointの適切な用途について復習。
【後期】 36～37回目	■後期試験: 実技試験のみ(Word/Excel/PowerPoint) 用途に応じて、これらOfficeソフトウェアを適切に選択し、学んだ技術を駆使しつつ、創造力をいかして課題を解決する文書ファイルが作成できるかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、業界を問わず世界中のビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。この講義を受講することで、仕事をする上で欠かせないパソコンによる文書作成ノウハウを身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システムⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	イクイップメントⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明システムに関する講義を行う。				
授業概要					
<p>①電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。</p> <p>②総合的に照明のシステム構造を深く理解する事で、高度なオペレート技術の向上にも反映していく。</p>					
到達目標					
<p>・デジタルへ移行している照明システムを学び、コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。</p> <p>・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につける。</p> <p>・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	EMYホールの照明システムを確認 ステージライティング①
【前期】 5～8回目	EMYホールの照明システムを確認 ステージライティング②
【前期】 9～12回目	EMYホールの照明システム全変更 シュート作業①
【前期】 13～16回目	EMYホールの照明システム全変更 シュート作業②
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習①
【後期】 24～27回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習②
【後期】 28～31回目	照明デジタルコンソールのオペレート実習③
【後期】 32～35回目	総復習。1年次からの照明知識及び照明スキルの確認。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログからデジタルへ移行している照明システムを学び、目標として照明会社から即戦力として評価されるような人材育成を目指し、学習を進めます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CADⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かしCADオペレートの実技を行う。				
授業概要					
<p>①建築やデザインなどの業界で広く使用されているCADソフト「Vectorworks」の応用操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の制作を行う。</p> <p>②実際に様々なイベントの仕込み図を制作し、各シチュエーションにおける発展的な制作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。</p>					
到達目標					
<p>・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成し、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。</p> <p>・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各コマンドの説明と練習。
【前期】 5～8回目	レイヤー、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習①
【前期】 9～12回目	レイヤー、クラス概念説明とそれぞれを行き来した作図練習②
【前期】 13～16回目	寸法、縮尺説明。
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	コマンド習得。
【後期】 24～27回目	照明機材などのテンプレート作成①
【後期】 28～31回目	照明機材などのテンプレート作成②
【後期】 32～35回目	仕込み図の作成。
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	CADソフト「Vectorworks」の使用法の習得及び舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解及び作成を習得することができるようになります。 また、授業を通じてPCの使用法になれることによって、柔軟な思考力を身につける。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <input type="checkbox"/> 該当 ■ <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスにて照明スタッフとして6年間在籍。現在は地元バンドの全国ツアー専属照明などフリーランスとして活躍。 上記の経験を活かし照明知識における講義を行う。				
授業概要					
<p>①照明に関する専門用語、舞台構造及び会場設備や光や色の特性などに関する応用知識を学ぶ。 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・現場での作業を想定した講義を行う。</p> <p>・目標として照明企業から即戦力として評価されるような人材育成を目指し、知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践①
【前期】 5～8回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践②
【前期】 9～12回目	シュート作業のレクチャー①
【前期】 13～16回目	シュート作業のレクチャー②
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	ピンスポットの組み立て、構造説明。
【後期】 24～27回目	課題曲を使ったピンスポットキューの作成。
【後期】 28～31回目	ピンスポットのキューの実践。
【後期】 32～35回目	試験対策 授業内容の確認。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	現場での作業を想定した講義を行います。目標として照明会社から即戦力として評価されるような人材育成を目指し学習を進めます。
備考	講師作成のプリント資料を授業毎に配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	照明Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスにて照明スタッフとして6年間在籍。現在は地元バンドの全国ツアー専属照明などフリーランスとして活躍。 上記の経験を活かし照明オペレーションを中心とした実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①電源の入れ方やパッチの手順などの応用操作、並びにチェイスやストロボなど様々な発展的機能を学び、メインコンソールの高度なオペレート技術を身につける。</p> <p>②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての発展的な技術も同時に学んでいく。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、より照明スタッフとしての幅広い知識を習得する。 ・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。 ・知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。 ・照明関連企業が求める新人照明オペレーターに出来るだけ近づけるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践①
【前期】 5～8回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践②
【前期】 9～12回目	シュート作業のレクチャー①
【前期】 13～16回目	シュート作業のレクチャー②
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技試験を実施。仕込みから、シュート作業の「正確性」「機敏性」を問う。
【後期】 20～23回目	ピンスポットの組み立て、構造。
【後期】 24～27回目	ピンスポットの練習。
【後期】 28～31回目	ピンスポットのキュー作成。
【後期】 32～35回目	後期試験対策・総復習。
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を設定して、ピンスポットのキューを作成し、「操作」「正確性」を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/操作/正確性/機敏性」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで、自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワークⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワークⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。様々なアーティストのコンサートにおける照明デザイン、照明オペレーターとして従事。また、コンサートのみならずスポーツイベントやゲームイベントなどにおいても照明スタッフとして携わる。上記の経験を活かし照明における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、シュート、照明調整、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの照明セッティングの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	前期授業における内容について、イベント制作コースを中心に企画会議を行い、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 9～16回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【前期】 17～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【前期】 25～32回目	前期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【前期】 33～37回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 38～45回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、照明としてどのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 46～53回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して照明の役割を学ぶ。
【後期】 54～61回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。
【後期】 62～69回目	後期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【後期】 70～74回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し、仕込みから本番までを想定した流れの中で、搬入、シューティング、照明調整、リハーサル、本番や撤収などの照明スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。